

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
解剖生理学実験	相川 悠貴	実習	1	栄養士必修	1, 2	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>健康管理の手段を学ぶためには、対象となる人体を構築する器官・臓器・組織の構造・機能について理解する必要がある。その理解をもとに、栄養の消化吸收機構、病気の状態、傷病者に対する栄養管理等の発展的な知識を身に付けていくことになる。その人体の構造と機能に対する理解を深める実験を、標本や自身の身体を用いて行う。</p> <p>本講義では、解剖生理学講義において学習する内容の理解を深めることと、簡易な身体評価手技を取得することを目的とする。</p>						
到達目標	<p>①生理学実験を行い、その測定結果の意味を説明できる。</p> <p>②標本の肉眼的観察、組織学的観察を行い、各臓器の詳細な構造を理解する。</p>						
回	学習内容						
1	実験概要の説明、生理応答測定練習						
2	生理学実験：安静負荷による生理応答の観察						
3	生理学実験：運動負荷による生理応答の観察						
4	解剖学実験：顕微鏡による組織切片（血液・リンパ系）の観察						
5	解剖学実験：顕微鏡による組織切片（循環器系）の観察						
6	解剖学実験：筋と関節の確認						
7	解剖学実験：運動機能制限体験						
8	解剖学実験：臓器標本（消化器系、腎・尿路系）の観察						
9	解剖学実験：臓器標本（循環器系、呼吸器系、生殖器系）の観察						
10	生理学実験：肺機能測定						
11	生理学実験：感覚器に関する実験						
12	生理学実験：環境による生理応答の観察						
13	解剖学実験：顕微鏡による組織切片（消化器系）の観察						
14	解剖学実験：顕微鏡による組織切片（腎・尿路系）の観察						
15	実験のまとめと機器の整理						
予習内容 復習内容	<p>予習：次回実験内容に関連した解剖生理学講義の復習。</p> <p>復習：実験内容の基となる解剖生理学の原理の理解に努める。</p>						
教科書	解剖生理学講義で使用する教科書および本実験配布プリント。						
成績評価	実験の参加・意欲・態度 40%、実験内容をまとめるレポート 60%により評価する。						
実務経験							
その他 特記事項							